

調査の概要

1. 調査の目的

大田区の各行政分野における区民の意向、要望、生活実態を把握するとともに、今後の大田区政の設計や方向性を検討する際の基礎資料とする。

2. 調査の内容

「大田区の将来像：地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」をコンセプトとして、下記の12テーマの内容について調査を実施した。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| (1) 高齢者対策 | (7) 自治会等の地域活動について |
| (2) 防災対策 | (8) 子育て関連施設の整備 |
| (3) 緑化推進・省エネ推進 | (9) 保健・健康対策 |
| (4) 清掃・リサイクルの推進 | (10) 交通安全対策 |
| (5) 生活環境の満足度 | (11) 特に力を入れてほしい施策 |
| (6) 国際化推進 | (12) 定住性 |

3. 調査の設計

- | | |
|----------|---|
| (1) 調査地域 | 大田区全域 |
| (2) 調査対象 | 大田区内に居住する満20歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパーソナルコンピュータシステムから回答フォームをダウンロードし、メールによる回収も実施。 |
| (6) 調査期間 | 平成23年1月17日～2月4日 |
| (7) 調査機関 | トランスコスモス株式会社 |

4. 回収結果

- | | | |
|-----------|--------|---------------|
| (1) 回収数 | 1,195人 | (回収率 59.8%) |
| (2) 有効回収数 | 1,138人 | (有効回収率 56.9%) |
| (3) 回収不能数 | 805人 | |

5. この報告書の見方

- (1) 図表中の n は該当質問での回答者総数のことである。
- (2) n が30未満の場合はアスタリスク(*)を記載し、参考値扱いとする。
- (3) 質問に対する回答は1つの場合や、3つまで、あるいは、いくつでもよい場合(複数回答)などがある。複数回答とは、回答が2つ以上ありうるという意味であるため、比率の合計は100%を超える場合がある。
- (4) 百分比は n を100%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、百分比の合計が100%に満たない場合や上回る場合がある。
- (5) 図表によっては「無回答」の表示を省略する場合がある。このため、全体の n 数は性別不詳や年齢不詳などを含む。よって、全体の n 数と性別などの合計値は必ずしも一致しない。(例：[全体の n 数(1,138)] ≠ [男性(計)(469) + 女性(計)(613) = 1,082])
- (6) 数表やグラフの回答選択肢表記は、コンピュータソフトの都合上省略しているところがある。

6. 標本誤差について

この調査の標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差(二段抽出の場合)
N = 母集団数
n = 比率算出の基数(サンプル数)
P = 回答の比率

(注) 後にかかげる表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出した。本調査は層化を行っているので誤差はこの表よりやや小さくなる。

たとえば、回答者総数(1,138人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%

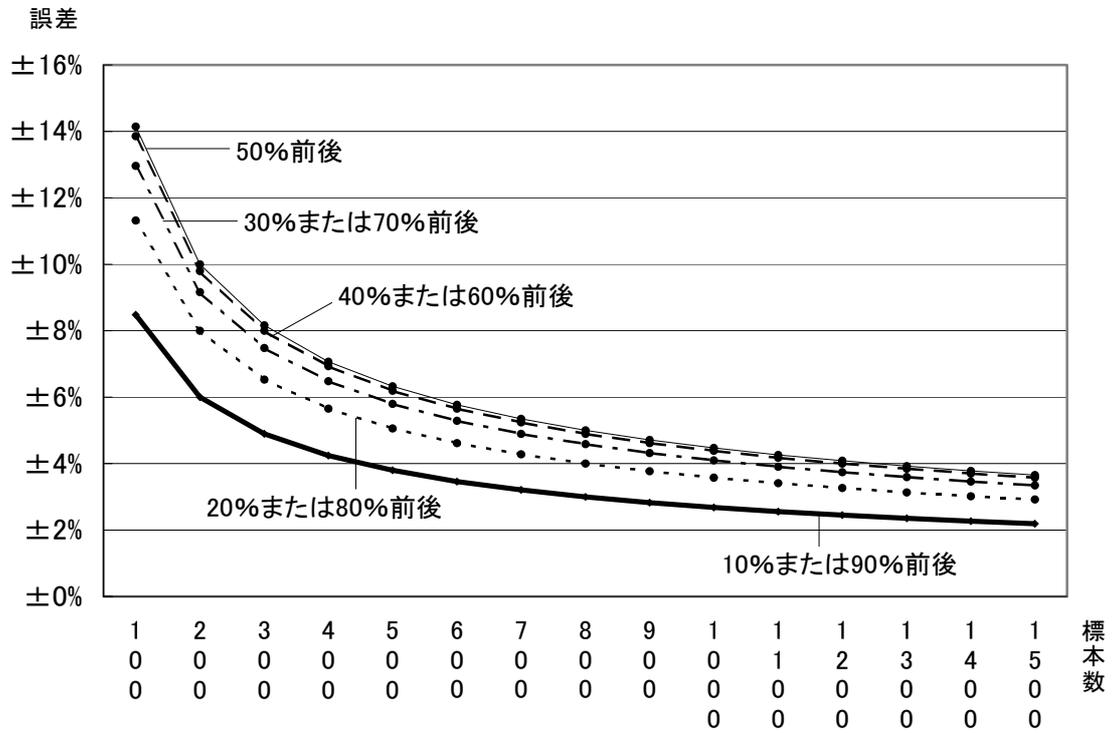
であった場合の標本誤差を計算すると、 $b = 2 \sqrt{2 \times \frac{0.5 \times (1-0.5)}{1,138}} = \pm 4.2\%$ となる。

つまり、回答者総数(1,138人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、大田区民(満20歳以上の男女)の真の値は45.8%~54.2%の間にあると考えられる。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味である。

n と P を上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できる。

標本誤差早見表は下記の図のとおりである。

図1 標本誤差早見表 (信頼度95%)



次のページより、本調査における標本誤差の一覧を掲載する。

図2 本調査における標本誤差一覧（信頼度95%）

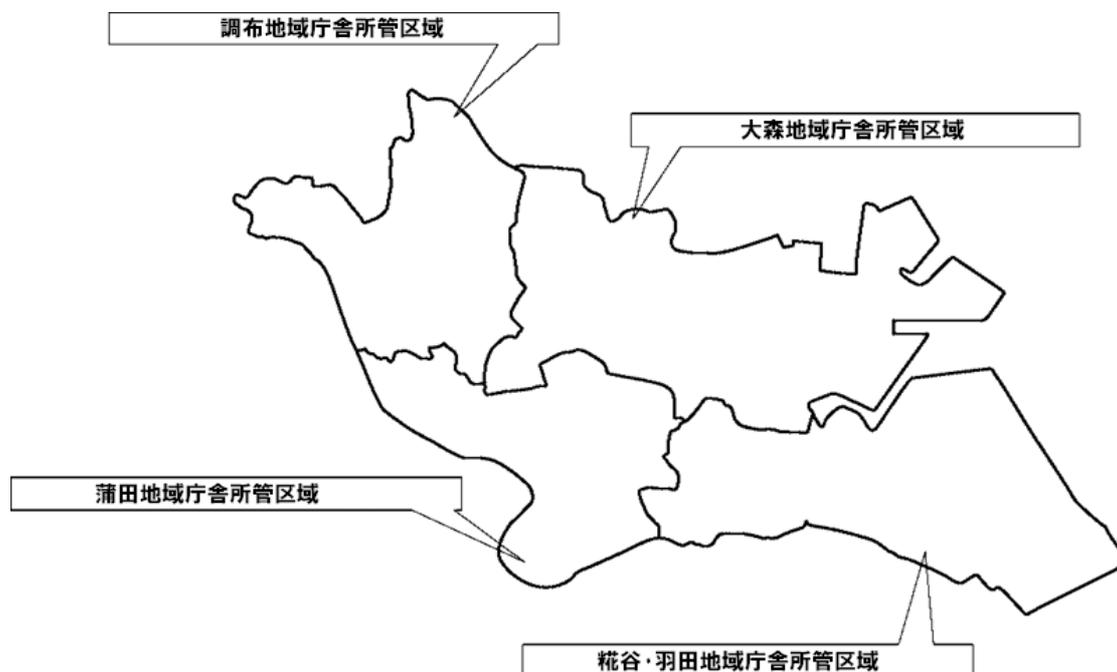
基数 (n)		回答の比率 (P)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
全体		1,138	±2.5%	±3.4%	±3.8%	±4.1%	±4.2%
地域庁舎 管内別	大森地域庁舎	372	±4.4%	±5.9%	±6.7%	±7.2%	±7.3%
	調布地域庁舎	311	±4.8%	±6.4%	±7.3%	±7.9%	±8.0%
	蒲田地域庁舎	321	±4.7%	±6.3%	±7.2%	±7.7%	±7.9%
	糎谷・羽田地域庁舎	134	±7.3%	±9.8%	±11.2%	±12.0%	±12.2%
性別	男性	469	±3.9%	±5.2%	±6.0%	±6.4%	±6.5%
	女性	613	±3.4%	±4.6%	±5.2%	±5.6%	±5.7%
	無回答	56	±11.3%	±15.1%	±17.3%	±18.5%	±18.9%
年代	20代	101	±8.4%	±11.3%	±12.9%	±13.8%	±14.1%
	30代	199	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
	40代	210	±5.9%	±7.8%	±8.9%	±9.6%	±9.8%
	50代	192	±6.1%	±8.2%	±9.4%	±10.0%	±10.2%
	60代	196	±6.1%	±8.1%	±9.3%	±9.9%	±10.1%
	70代以上	196	±6.1%	±8.1%	±9.3%	±9.9%	±10.1%
	無回答	44	±12.8%	±17.1%	±19.5%	±20.9%	±21.3%
性別× 年代	男性20代	48	±12.2%	±16.3%	±18.7%	±20.0%	±20.4%
	男性30代	68	±10.3%	±13.7%	±15.7%	±16.8%	±17.1%
	男性40代	87	±9.1%	±12.1%	±13.9%	±14.9%	±15.2%
	男性50代	79	±9.5%	±12.7%	±14.6%	±15.6%	±15.9%
	男性60代	91	±8.9%	±11.9%	±13.6%	±14.5%	±14.8%
	男性70代以上	96	±8.7%	±11.5%	±13.2%	±14.1%	±14.4%
	女性20代	52	±11.8%	±15.7%	±18.0%	±19.2%	±19.6%
	女性30代	130	±7.4%	±9.9%	±11.4%	±12.2%	±12.4%
	女性40代	122	±7.7%	±10.2%	±11.7%	±12.5%	±12.8%
	女性50代	111	±8.1%	±10.7%	±12.3%	±13.2%	±13.4%
	女性60代	103	±8.4%	±11.1%	±12.8%	±13.7%	±13.9%
	女性70代以上	94	±8.8%	±11.7%	±13.4%	±14.3%	±14.6%
	無回答	57	±11.2%	±15.0%	±17.2%	±18.4%	±18.7%
職業	自営業 計	105	±8.3%	±11.0%	±12.6%	±13.5%	±13.8%
	勤め人 計	566	±3.6%	±4.8%	±5.4%	±5.8%	±5.9%
	無職 計	381	±4.3%	±5.8%	±6.6%	±7.1%	±7.2%
	無回答	86	±9.1%	±12.2%	±14.0%	±14.9%	±15.2%
ライフ ステージ	独身 計	312	±4.8%	±6.4%	±7.3%	±7.8%	±8.0%
	子供のいない夫婦 計	132	±7.4%	±9.8%	±11.3%	±12.1%	±12.3%
	子供のいる夫婦 計	604	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.6%	±5.8%
	無回答	90	±8.9%	±11.9%	±13.7%	±14.6%	±14.9%

7. 調査対象者の抽出

- (1) 母集団 大田区内に在住する満20歳以上の男女個人
- (2) 抽出台帳 大田区住民基本台帳
- (3) 標本数 2,000
- (4) 調査地点数 200地点
- (5) 抽出法 層化二段無作為抽出法
- (6) 地域区分 区内を、4か所ある地域庁舎がそれぞれ所管する区域を単位として次の4地区に分類し、それぞれを層とした。

地域庁舎	所管区域
大森地域庁舎	大森東特別出張所管内の一部、大森西特別出張所管内、入新井特別出張所管内、馬込特別出張所管内、池上特別出張所管内、新井宿特別出張所管内
調布地域庁舎	嶺町特別出張所管内、田園調布特別出張所管内、鷺の木特別出張所管内、久が原特別出張所管内、雪谷特別出張所管内、千束特別出張所管内
蒲田地域庁舎	六郷特別出張所管内、矢口特別出張所管内、蒲田西特別出張所管内、蒲田東特別出張所管内
糎谷・羽田地域庁舎	大森東特別出張所管内の一部、糎谷特別出張所管内、羽田特別出張所管内

図3 地域庁舎所管区域図



- (7) 地点数の配分 1地点が10標本になるように各地域（層）における20歳以上の人口（平成22年1月1日現在）に応じて地点を比例配分した。（合計200地点）
- (8) 地点抽出 各地域ごとに地点数に応じた対象者人口インターバルを定め、各地点のスタート番号を無作為系統抽出した。
- (9) 対象者抽出 抽出された各地点のスタート点より、1地点10標本ずつのサンプルを無作為系統抽出した。

以上の結果、地域別の地点数、標本数及び完了数は次のとおりである。

地域庁舎	20歳以上人口(構成比)	地点数	標本数	有効回収数(率)
大森地域庁舎	195,010(34.0%)	67	670	372(55.5%)
調布地域庁舎	147,767(25.8%)	51	510	311(61.0%)
蒲田地域庁舎	169,789(29.6%)	60	600	321(53.5%)
糞谷・羽田地域庁舎	60,796(10.6%)	22	220	134(60.9%)
合計	573,362(100.0%)	200	2,000	1,138(56.9%)